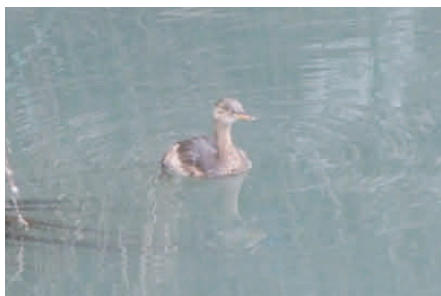


ヤマセコ ミヤゴ

鳥類

鹿児島市の川では、39種の鳥類が確認されました。市街地でよく見られるセキレイ類やカワラヒワ、スズメ、カラス類が多く、ほとんどの地点で確認されています。一方川幅の広い甲突川や永田川では、人目にふれにくいいため、サギ類を中心に多くの鳥類が見られます。特に永田川はセイタカヨシやタチスズメノヒエ、オオフサモなどが大きな群落をつくっており、鳥たちが安心して休める空間になっているようです。



●カイツブリ：水中にもぐって小魚などをとる。水面に浮き巣をつくる。



●ササゴイ：サギのなかま。魚道で待ちかまえて魚をとることもある。



●トビ：主に動物の死体を食べる。カラスに追いかけていることが多い。



●バン：くちばし付近の赤と黄色が目立つ。植物が多い川や池に生息する。



●セイタカシギ：環境省にて絶滅危惧Ⅱ類に指定。長いピンク色の足がとくちょう。



●キシバト：黒と茶色のうろこ模様がとくちょう。樹上に皿型の巣をつくる。



●コサギ：川や田んぼでよく見られる。くちばしが黒く、足先の黄色がとくちょう。



●アオサギ：大きいためツルとまちがわれるが、アオサギは首を曲げて飛ぶ。



●カワセミ：市街地の川でも見られることがある。水中にダイビングし、魚をとらえる。



●ハクセキレイ：冬に見られ、道路の街路樹で休むことが多い。



●カルガモ：川や水田で見られ、中洲や竹林など人目につかない所で子どもを育てる。



●ヒドリガモ：鹿児島県では冬に見られる。数百羽以上の大きな群れをつくる。



●イソヒヨドリ：本来海岸に多いが、市街地でも見られ、気に入った場所でもよく鳴く。



●ムクドリ：くちばしと足が黄色い。数万羽の群れをつくることもある。